

入学おめでとう！23人の新しい仲間たち

東京建築カレッジ 第26期生 初心堅持して全員卒業めざそう

カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！Tel 03
(5950)
1771

東京建築カレッジ（以下、カレッジ）は4月7日、第26期生の入学式を行いました。今年の新入生は23人。全員男性です。高校新卒8人・その他学校を含めると10人が新卒（構成比43・5%）、年齢構成は10・20代は19人（構成比82・6%）、50代1人、40代1人、30代3人。一方、新規入職12人にに対し既従事者は11人もいます。新しい仲間との出会いは新鮮です。助け合い、励ましあいながらの2年間のカレッジ生活が始まりました。

新入生代表挨拶



法量 一輝さん

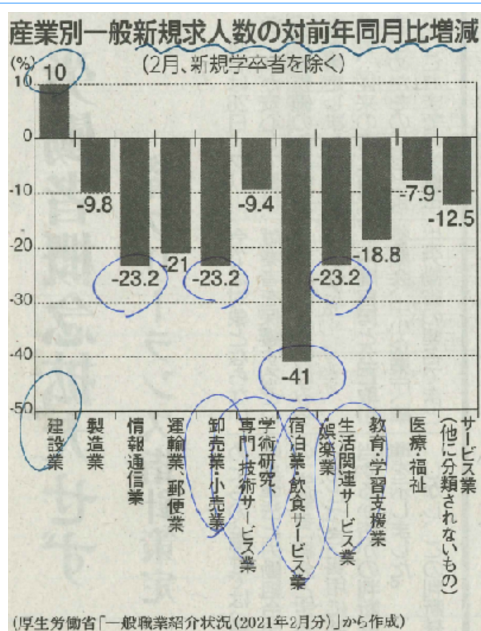
東京建築カレッジ第26期生の法量一輝です。私自身4月から父の営

んでいる防水屋に入社しました。日々不慣れな仕事をするにあたってこの建築カレッジで同じ志を持つ同世代の方々と共に学び、悩みや不安を共有することはとても支えになると考えています。ここでの2年間の頑張りで周りとの差がつけられる

9日間の集中授業

ように座学、実習どちらも全力で取り組んでいきたいです。この場にいるクラスメイト全員と一緒に卒業したいと思っています。これからの2年間よろしくお願い申し上げます。

東京建築カレッジでは入学後すぐに9日間の「集中授業」を行ないます。教育理念やその方法を橋本英夫教務運営委員が伝える一方、建築の仕事に欠かせない数学の復習授業などを受けます。一方、実技実習では、大工手道具の使い方を教わります。新築の現場ではプレカット材の組み立てが主になっていますが、作業員でなく技能者を目指すなら、図面を読み解き、墨付けを自力で行い、基本的な継手や仕口を手刻みでできる能力が求められます。大工以外の専門工事職や施工管理に従事する研修生からも「建築の仕事の理解に役立つ」「職人さんとのコミュニケーションに生かしたい」と好評です。



コロナ禍で増加中。転職組をねらえ！ 新規入職の獲得を建築カレッジで

新型コロナウイルス感染拡大とその対策で、私たちの生活は大きな影響を受けています。失職したり、転職を考える人が増えています。一方、人不足が続く、新規求人数を増やしているのが建設業です。左表は厚生労働省「一般職業紹介状況」(21年2月分)から作成した新規求人数の対前年同月比グラフ。失業対策の役割が期待され、有望な人材獲得のチャンスであることがわかります。新規入職者をつかむ一つの方法が建築カレッジの活用です。ご相談を歓迎します。

集中授業では、建築に欠かせない算数、数学の復習も元都立高教員による独自テキストで実施しています。「分かりやすい。中学時代に出会いたかった」の声も。

『カレッジ通信』
バックナンバー
が読めます





高精度のものづくりは正確な図面から！
まず、三角定規を使って原寸図を書き上げます。



廻り階段をつくる フレカットでなく 原寸図、墨付けから！

2年生の授業から

カレッジの実技実習は、1年次の総仕上げに実習棟実習を行い、2年次の最初の実習棟に取り付ける廻り階段を製作します。

指導にあたる片岡茂樹2年生指導員責任者は言います。「フレカットのキツト組み立てが当たり前の昨今だが、自ら図面を書き、墨付けも刻みも一人でできる技能者になってほしい」。

廻り階段の製作は電動工具も使います。事前に全員が「丸のこ作業者特別教育」を受講した後に授業が始まります。

夏以降に本格化する規矩（きく）術の課題演習も同様ですが、高精度のものづくりを行うために、正確な原寸図（実際の製作物と同じ、1分の1サイズの図面）を書き上げるところから授業は展開していきます。大きな三角定規と1メートル直定規、サシガネを使って製図します。

基礎製図スタート ルールを学んで線を引く



1年生の授業から

2年次になると「卒業制作」にも取り組みます。カレッジで学んだことを生かすことを念頭に要項に基づいて各自がテーマを設定し、1年をかけて完成を目指します。

大学の建築学科では「卒業設計」がありますが、カレッジの場合、ほぼ原寸大の実物を作り上げる卒制がほとんどです。チームで取り組むことが多く、バーチャ

卒制はテーマ出しから

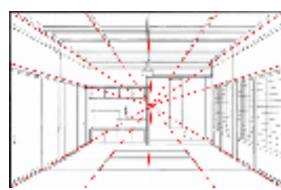
ルなゼネコン体験と言ったこともできます。計画・設計から施工、工程管理、予算管理などの一連の流れを仲間たちと一緒に経験していくものです。所属する工務店などの業務、カレッジの授業課題との両立は大変な苦労が伴いますが、スケジューリングの試練も学習課題であるとカレッジでは考えています。

建築製図とは、立体的な構築物である建築物を平面的な図面に投影して、作図すること。日本産業規格（JIS）によりルールが定めら



れています。線の引き方1つとってもルールがあります。カレッジでは製図の基本を初心中でも理解できるように、ゆっくり丁寧に学んでいきます。建築士受験でも必要な卓上の平行定規を使った製図にも慣れてもらいます。一方、CAD（コンピューター支援設計）による製図もフリーソフトJw-cadを使ってノウハウを習得します。

建築スケッチの技法も授業で学びます。お



客さんの前で手軽にスケッチしてイメージを伝えたり、日々の仕事に必ず役立つ学習課題です。

5月下旬「飯能・秩父宿泊研修」 秋に延期、他の授業にも影響

3回目の緊急事態宣言を受けて、カレッジでは授業日程の組み替えを余儀なくされています。1年次の5月下旬に毎年実施してきた「飯能・秩父研修」（昨年は秋に日帰りで実施）は、秋に延期することになりました。状況によっては昨年同様、日帰りに授業内容を短縮する可能性もあります。これにより授業の組み替えが相当数発生しました。コロナ禍によるやむを得ない措置であることをご理解ください。

3回目の緊急事態宣言